

平成26年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成26年6月19日

午後1時00分開議

於 議 場

**1 議 事 日 程**

- 日程第 1 竜王町農業委員会委員の推薦について
- 日程第 2 議第 45号 平成26年度竜王町一般会計補正予算（第1号）  
（総務産業建設常任委員会委員長報告）
- 日程第 3 請第 1号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書  
（教育民生常任委員会委員長報告）
- 日程第 4 意見書第1号 「手話言語法」制定を求める意見書
- 日程第 5 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 6 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告
- 日程第 8 所管事務調査報告  
（議会運営委員会委員長報告）  
（総務産業建設常任委員会委員長報告）  
（教育民生常任委員会委員長報告）
- 日程第 9 議員派遣について

## 2 会議に出席した議員（11名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
3番	若井敏子	4番	岡山富男
5番	山田義明	6番	内山英作
7番	貴多正幸	8番	古株克彦
9番	松浦博	10番	(欠員)
11番	菱田三男	12番	蔵口嘉寿男

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	総務政策主監兼 産業建設主監	福山忠雄
住民福祉主監	松瀬徳之助	会計管理者	犬井教子
政策推進課長	杼木栄司	総務課長	奥浩市
生活安全課長	井口清幸	住民税務課長	知禿雅仁
福祉課長	田邊正俊	健康推進課長	嶋林さちこ
発達支援課長	木戸妙子	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	西川良浩
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	山添登代一
学務課長	深井実	生涯学習課長	竹内修

## 5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、11人です。よって、定足数に達していますので、これより平成26年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

皆さんのお手元に、滋賀県市町土地開発公社、株式会社みらいパーク竜王並びに公益財団法人竜王町地域振興事業団の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、よろしく願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 竜王町農業委員会委員の推薦について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1、竜王町農業委員会委員の推薦についてを議題といたします。

お諮りいたします。議会推薦の農業委員は2名とし、推薦については、議長から指名することに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって議会推薦の農業委員会委員は、議長から指名することに決定しました。

それでは、議会推薦の農業委員会委員に、（個人情報のため、一部秘匿）、久田順子氏、（個人情報のため、一部秘匿）、前田恵子氏の2名を推薦いたしたいと思っております。御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって議会推薦の農業委員会委員に、（個人情報のため、一部秘匿）、久田順子氏、（個人情報のため、一部秘匿）、前田恵子氏の2名を推薦することに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 議第45号 平成26年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

##### （総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2、議第45号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員

長、貴多正幸議員。

**○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸）** 議第45号、総務産業建設常任委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 貴多 正幸

去る6月11日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第45号、平成26年度竜王町一般会計補正予算（第1号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6月12日午後1時30分より第1委員会室において、委員1名欠席のもと会議を開き、竹山町長、関係各主監及び課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成26年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、当初予算に9,812万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億2,312万9,000円に改めるものです。

主な内容として、歳入では、老人福祉施設入所措置に係る負担金の増額、県補助金の採択を受けたことによる経営体育成支援事業補助金の追加、火災に係る復旧等関連経費に充当するため財政調整基金繰入金の増額及び公共施設火災復旧事業債の追加、（仮称）竜王消防出張所整備事業とあわせて整備する町単独の防災拠点施設整備に充当するため、緊急防災減災事業債の増額等です。

歳出では、町総合庁舎別館の火災に係る復旧等関連経費として総合庁舎別館火災復旧工事設計業務委託料の追加、新電算環境整備等工事設計業務委託料及び新電算室機器移設等実施設計業務委託料の追加、電算復旧等関連経費として、総合行政システム等リプレース経費、戸籍住民登録システム住民基本台帳システムリプレース経費及び介護保険用システムリプレース経費等それぞれ追加及び増額、（仮称）竜王消防出張所整備事業とあわせて隣接地に町単独の防災拠点施設を整備するための土地造成工事に係る工事請負費及び土地取得費のそれぞれ増額等の説明を受けました。

歳入補正予算の主なものは、老人福祉施設入所措置費負担金97万9,000円の増額、経営体育成支援事業補助金835万6,000円の増額、財政調整基金繰入金4,864万8,000円の増額、緊急防災減災事業債2,540万円の増額、公共施設火災復旧事業債290万円の増額、前年度繰越金1,167万2,000円の増額。

歳出補正予算の主なものは、新電算室環境整備等工事設計業務委託料127万5,000円の増額、新電算室機器移設等実施設計業務委託料216万円の増額、電算管理用備品1,968万3,000円の増額、(仮称)竜王消防出張所整備事業2,541万6,000円の増額、戸籍住民登録事務用備品1,350万円の増額、住基ネット用サーバ608万8,000円の増額、介護保険用サーバ451万3,000円の増額、経営体育成支援事業補助金835万6,000円の増額、定住促進リフォーム助成事業助成金179万3,000円の増額、総合庁舎別館火害復旧工事設計業務委託料372万6,000円の増額。

主な質疑応答は、問) 歳入における老人福祉施設の入所措置費は、県2分の1、町2分の1と考えていいのか。また、この施設には何人の方が利用されているのか。答) この負担金については、新たに施設を利用される方の個人の負担金となっています。施設は県立安土荘で、現在2名の方が利用されており、新たに1名の方がふえ、計3名となります。

問) 消防出張所土地造成工事について、構造や詳細についてどのようになっているのか。答) L型擁壁が東側、北側、一部西側を含んで271メートル、南側は水路があるため、水路工と西側一部含め100メートル、購入土8,349立方メートル、耕土ははぎ取りします。

主な意見として、電算管理用備品として1,968万3,000円が増額されているが、来年10月よりクラウド化されると聞いている。無駄な部分が出ないよう十分工夫し、考慮されたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長(蔵口嘉寿男)** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(蔵口嘉寿男)** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(蔵口嘉寿男)** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第2 議第45号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第2 議第45号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第3 請第1号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書  
（教育民生常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第3、請第1号を議題といたします。

本請願につきましては、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 請第1号、教育民生常任委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 古株 克彦

去る6月11日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました請第1号、手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書について、審査の経過と結果を報告いたします。

本委員会は、6月13日午後1時より第1委員会室において、欠席委員1名を除く委員5名の出席のもと会議を開き、請願人、滋賀県蒲生郡竜王町鏡2202-3、一般社団法人滋賀県ろうあ協会竜王町代表、山口英二氏の請願書について、委員会に先駆けて午前中に開催された全員協議会にて、山口氏より詳しい説明を受けるとともに、委員会で紹介議員の若井敏子議員より説明を受け審査いたしました。

請願の主な内容は、手話が音声言語と対等に言語であることを国民に広め、聞こえない子供・大人がともに手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした（仮称）手話言語法を制定するよう、地方自治法第99条の規定による意見書を政府並びに国会に提出していただきたい。

全員協議会での山口氏の説明や請願内容を慎重審査の結果、全員賛成で採択すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。3番、若井敏子議員。

○3番（若井敏子） ただいまの手話言語法制定を求める請願書について賛成の立場での討論を行います。

この請願書の言う手話言語条例は、聴覚障がい者がそうでない人とのかけ橋となり、聴覚障がい者の人権が尊重され、互いに理解し、共生する社会を築くため、手話を広く国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、手話を言語として普及、研究することができる環境整備をしようとするものです。

今日まで多くの障がい者は共通の言語がないために、意思疎通が十分図れず、偏見や差別に悩むこともしばしばありました。けれども、手話を言語にした社会、手話を使って心豊かに暮らす共生社会がくれたなら、差別や偏見はなくなり、文字どおり豊かな社会となることでしょう。

この基本法は、今日までの聴覚障がい者の苦勞が報われ、これからの子供たちに明るい未来を指し示すこととなります。

過去の一般質問で私は、聴覚障がい者が人としてみずからの権利を守る施策を具体的に要求し、町としてもそれらの充実に取り組んでいただきました。しかし、それらは枝葉の施策で、根本的なものではなく、対症療法にすぎなかったのではなかったかと今感じているところです。しかしながら、国の法整備、個別法の成立などまだ時間はかかりますし、3月議会でお示しいただいた趣旨に基づき、町としてのお取り組みについては、今後とも御尽力をお願いします。

今回の請願書は、まさにこの問題について地方のあり方を指し示すことにもなります。竜王町の聴覚障がい者の皆さんとは、私も40年以上のおつき合いをさせていただいていますが、この基本法ができれば、皆さんの長年の御苦勞が報われ、子供たちに明るい未来が切り開かれることでしょう。聴覚障がい者施策の基本的・原則的な法律の制定は大変意義深いもので、大歓迎であります。

同僚議員各位の御理解をいただき、聴覚障がい者傍聴のもと、竜王町議会議員全員の御同意をいただきますようお願い申し上げ、賛成の討論とします。どうぞよろしくをお願いします。

○議長（蔵口嘉寿男） ほかに討論はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第3 請第1号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第3 請第1号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 意見書第1号 「手話言語法」制定を求める意見書

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第4、意見書第1号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 意見書第1号、「手話言語法」制定を求める意見書。

平成26年6月19日提出。提出者、竜王町議会教育民生常任委員会委員長、古株克彦。

「手話言語法」制定を求める意見書につきましてはお手元に配付のとおりでございます。

提出理由を申し上げます。

手話が音声言語と対等に言語であることを国民に広め、聞こえない子供や大人が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした（仮称）手話言語法を制定するよう、地方自治法第99条の規定により意見書を政府並びに国会に提出するものです。以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） 提出者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第4、意見書第1号を原案のとおり提出することに、賛成諸君の起立を求めます。



[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第4、意見書第1号は原案のとおり提出することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第5、議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、松浦博議員。

○議会広報特別委員会委員長（松浦 博） 議会広報特別委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成26年第1回定例会閉会後の平成26年3月31日、4月1日、17日、いずれも午前9時より委員2名欠席のもと開催し、また、21日午後1時より委員3名欠席のもと委員会を開催し、議会だより167号の編集作業をし、5月1日に発行しました。

また、本委員会は、本定例会中6月9日午前10時55分より、委員2名欠席のもと委員会を開催し、議会だより168号について、記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、条例の一部改正、平成26年度補正予算、委員会活動、一般質問、シリーズいきいき人生などで、12ページにまとめ、8月1日に発行することになりました。また、今後の本委員会の日程につきましては、7月2日、11日、18日、22日、23日と決定しました。

なお、委員長病気療養に伴い、委員会での互選により、委員長に私、松浦博、副委員長に内山英作議員を選出しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと

と思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第6 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、松浦博議員。

○地域活性化特別委員会委員長（松浦 博） 地域活性化特別委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成26年6月12日午前9時より第1委員会室において委員1名欠席のもと、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、桴木政策推進課長、松木企業誘致対策室長、尾崎工業団地推進課長、村田工業団地推進担当理事員の出席を求め、なお当日は、滋賀県土地開発公社より外村理事、今掘審議員が同席され公社事業の説明を受けました。町長挨拶の後、所管事務調査を行いました。

1、滋賀竜王工業団地、全体の工事計画について。

公社より、採算性及び保安林対策の課題を解決し事業を進めてきた。今年度は事業の正念場として、国道477号改良工事や造成工事に着手するとともに企業誘致活動を積極的に行うと冒頭に述べられ、全体の工事計画の説明が次のとおりありました。

平成26年度発注予定工事計画について。

県土地開発公社の事業は、工業団地敷地造成工事ほか7件。県企業庁事業は、工水・上水・下水道の場外祖父川推進管工事ほか2件。竜王町事業は、多機能グラウンド整備工事ほか5件。県公社発注の造成工事は最も大きな工事であり、制限つき一般競争入札（総合評価方式）で平成26年5月23日に入札公告を行い、平成28年2月29日を完成予定とされています。販売計画は平成26年秋から全区画同時公募し、造成完成後に順次引き渡す方法となります。また、企業誘致活動には公募要領を作成するが、竜王町の意向を反映するよう調整し、トップセールスなどインパクトのある募集活動を行うことで進出希望企業など情報把握に

努めます。

主な質疑応答。

問) 工事・業者がふくそうするが、トラブル等発生しないよう誰が指示、命令していくのか。答) 全体管理は公社が行うこととなります。

問) 工事期間中の集中豪雨に対してどのように備えるのか。答) 50年確率の豪雨に耐え得る能力のある調整池を設置。工事期間中は地形を利用しながら土砂や雨水を祖父川に流さない。

問) 販売計画で企業の審査を行うに当たり、経営調査などはどのように行うのか。答) 公募要領の中で企業の経営状態や調達資金の方法を調査し優良企業を決定する。

問) 誘致企業選定委員会の構成はどのようになるのか。答) 竜王町にふさわしく、まちづくりに合致する企業誘致を行うことから、竜王町からの委員の選出を要請する。

問) 国道477号拡幅工事期間中は片側通行か。またその告知はどのようにするのか。答) 掘割・盛り土道路であることから迂回は難しく、片側通行はやむを得ない。通行をスムーズに流すために、早期に関係企業などに告知を行う。

2、その他。

(1)雪国まいたけ。

今年度における取り組み状況について説明がありました。

4月末に雪国まいたけの管理本部長が来町し、平成25年度事業については、過去2期の赤字決算から脱却の見込みであるとの報告がありました。その後、5月には町長が新社長と面談し、町長より農工計画に基づく着実な取り組みを重ねて要請された。新社長からは工場建設が進まない現状を反省し、しっかり取り組んでいくとの回答を得られたとの報告がありました。

一方、(株)雪国まいたけでは、山面工場用地の有効活用に向けた検討を継続して行っており、町から事業者に対して、早期に具体的な土地利用計画を提示するよう、繰り返し要請しているとの報告がありました。

主な質疑応答。

問) 現在の農工計画中で工場建設はできるのか。答) 事業者側も精力的に取り組んでおり、夏ごろには一定の方向を示したいとの意向である。

問) 農工計画の延長は、もはや次はないという強い姿勢で臨む必要があるのではないか。答) 事業進展のない再延長は認めない。本日委員会の議論を事業者に

伝え、改めて着実な取り組みを強く要請する。

問) 地元への説明はされているのか。答) 状況変化があった時点で、地元説明を行う予定である。

(2)住宅対策。

執行部より、山之上地先の住宅計画における現在の取り組み状況について報告がありました。本委員会として、計画を含む全体計画に係る地元説明など、慎重かつ着実に進めるよう執行部へ要請しました。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## **日程第7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、小森重剛議員。

**○議会基本条例推進特別委員会委員長（小森重剛）** 議会基本条例推進特別委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 小森 重剛

本委員会は、4月10日午後3時30分から301会議室において、委員3名欠席のもと会議を開き、議会報告会のテーマについて、教育、福祉を中心に報告、懇談することを確認し合いました。また、具体的な内容については、議会運営委員会及び全員協議会で進めることとしました。

次に、本委員会は、6月13日午前9時から301会議室において、委員3名欠席のもと会議を開き、平成26年度竜王町議会報告会のまとめについて協議しました。

平成26年度竜王町議会報告会は、「私たちのまちづくり『教育・福祉』を考える」と題し開催しました。報告会は、平成26年5月24日の土曜日午後7時30分から午後9時まで、竜王町公民館ホールで開催し、55名の参加をいただきました。また、議会としては報告者及び説明員として、議員2名欠席の10名で対応しました。

蔵口議長の開会の挨拶で報告会を開会しました。今回の報告会は二部構成とし、第一部は「住民として取り組む教育について」のテーマで、教育民生常任委員会、古株委員長より報告、その後報告についての質問・意見などについて発言を求めましたが、特に発言はありませんでした。

第二部は「医療費と健康づくりについて」のテーマで、総務産業建設常任委員会、貴多委員長より報告、その後報告についての質問・意見などについて発言を求めました。

主な質問・意見として、国保の該当者が減少したにもかかわらず医療費が増加していることの要因を分析する必要がある。レセプト点検を十分に行い、医療費の適正化に努めてほしい。

次に、その他の報告として滋賀竜王工業団地の現状について地域活性化特別委員会、松浦委員長より報告、この報告については報告のみにとどめ、特に質問・意見のある方については、後ほどの全体的な意見交換の場で伺うこととしました。

計画をしていた全ての報告事項が終了後、全体的な意見交換会に移行し、意見を求めましたが、特に竜王町議会として取り上げるべき意見は出されませんでした。

議会基本条例推進特別委員会、内山副委員長がまとめを行い報告会を終了しました。

なお、報告会では、出席者全員を対象に、無記名によるアンケートを実施しました。参加者55名中アンケートに応じていただいた方は46名でした。アンケート項目中、特に報告会で気づいた点、またその他の意見について、貴重な御意見を多数頂戴しました。それらを参考に、今後の議会活動に生かしていくことを委員会で確認し合いました。

まとめとしては、今回の報告会に協力いただいた町執行部、各自治会様及び各

種団体様にお礼を兼ねて、報告会のまとめを送付させていただくことと、来年度の議会報告会は第15期竜王町議会議員としての締めくくりの年であり、4年間の総括としての報告会にしていくことを確認し合い、委員会を閉会しました。

以上、議会基本条例推進特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを、委員会として決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） 議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 8 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第8 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、山田義明議員。

○議会運営委員会委員長（山田義明） 議会運営委員会報告。

平成26年6月19日

委員長 山田 義明

本委員会は、5月7日午前9時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと委員会を開催し、平成26年第2回定例会の日程について協議し、6月5日から6月19日までの15日間とする案を作成しました。続いて、議会報告会の運営について協議しました。

次に、本委員会は、5月29日午後1時より第1委員会室において委員全員出

席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、竹山町長挨拶の後、平成26年第2回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分の承認を含む条例5件、補正予算2件、竜王町固定資産評価員の選任について及び平成25年度竜王町一般会計繰越明許費繰越計算書について各1件の計9件です。

会議録署名議員の指名、会期を6月5日から6月19日の15日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。なお、平成26年度竜王町一般会計補正予算（第1号）については、総務産業建設常任委員会に審査を付託することとしました。

次に、本委員会は、6月9日午前8時55分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成26年第2回定例会第3日の会議の再開時間、7議員による一般質問9質問についての質問の順序等について審査決定しました。第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、質問については質問通告書の提出順序とすることと決定しました。

また、手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書について教育民生常任委員会に審査を付託することとしました。

次に、本委員会は、本日午前8時30分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、教育民生常任委員会に付託された手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書の採択を受け、意見書の処理について審議し、本日の議会に提出することを決定しました。

また、竜王町農業委員会委員の議会推薦についても協議し、2名の方を農業委員として指名推薦することとしました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成26年6月19日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る5月19日から21日までの3日間、委員2名欠席のもと、委員4名と事務局1名、執行部1名参加のもと視察研修を行いました。19、20日の2日間については、福島県新地町において、新地町の復旧・復興の状況について、並びに減災に向けての取り組みを、現地の状況を見させていただきながら研修を行いました。

新地町の被害の状況については、津波浸水面積9.27キロ平方メートル、町面積の約20%が浸水。津波による罹災状況、町世帯数約2,660世帯のうち全壊467世帯、大規模半壊30世帯、半壊19世帯、死者・行方不明者数116名、町人口約8,400人。また、地震当日、水道については全域断水、電気は町内の3分の2程度が停電となった。

復旧については、水道・電気ともに約1カ月程度で復旧された。この間、町民の不安を払拭すべく、町長が毎朝、防災行政無線で災害対応の状況を放送されたと聞きました。

仮設住宅については、早いところで4月25日からの入居が開始され、計8カ所、573戸が整備されていました。また、町の比較的高台において防災集団移転事業による団地の整備が進んでおり、特徴として、被災集落別懇談会を数回開き、意向調査の結果発表、移転先素案等を町職員から説明され、個別相談会についても集落ごとに順次開き、係長以上の職員で各課が横断的に対応されたこと等により、順調に復興が進んでいることがうかがえました。

減災に向けての取り組みについては、停電時の対応やデジタル化も含めた防災行政無線の見直しや、避難所の非常用電源の確保などに2億4,000万円以上の予算を計上され、特別交付金による補助事業を有効的に活用され、課題に対して着実な対応をされていました。

研修3日目の21日については、「三陸鉄道復旧の今」として、人・物・文化の交流軸としての役割を果たしてきた鉄道や駅が、震災で壊滅的な被害を受けたが、ことし4月6日、完全復旧し、活気を取り戻してきている現場を視察する予定でしたが、連絡するJRが大幅に遅延し、結果として予定を中止せざるを得なくなりました。しかしながら、釜石市内の食堂で昼食をとった際、店の店主から震災当日の貴重な体験談を聞くことができました。体験談の概要については次のとおりです。

3月11日、店主は釜石市内のパチンコ店におられました。大地震に慌てて店内にいた人たちは駐車場など外へ飛び出たけれど、揺れもおさまり、店員が、も



う大丈夫ですから店内にお戻りくださいと誘導し、お客さんたちは店内に戻られたそうです。店主は低い地域で津波のおそれがあるので、危ないので逃げようと促したが聞いてもらえず、やむを得ず自宅食堂に戻られました。まず身重の娘さんを高台のお寺へ預け、奥さんや家族を迎えに再度自宅食堂へ戻ると、道路を挟んだ川から津波が迫ってきたため、店のシャッターも閉めずに身一つで高台へ避難されたそうです。ショックだったのは、パチンコ店は津波に流され、店内にいた人たちはいまだ帰ってこられないそうです。あのとき、誘導が適切に行われていたとしたらと、悲しみとも怒りともわからない表情で、また3.11を忘れない、伝えたいとの思いで語られていました。この体験談を聞き、自己判断は危険を伴うこともあると思うが、早い判断は必要であると感じました。

委員からの主な意見。震災後のライフラインの復旧については、1カ月後の4月には完了されており、特に水道本管についてはもともとループ化がされていたため、復旧を早く進めることができたとの報告を受け、当町においても早急に対応すべきと感じた。

防災集団移転事業において、住宅再建の方向性を早期に住民に提示し、被災集落別懇談会を数回開き、意向調査の結果発表、移転先素案の提示、今後の懇談会の進め方の説明をし、また、移転団地ごとにワークショップを3回実施し、住民の声を反映し、町職員が積極的に地域へ出向き住民の理解を求めている姿には感銘を受けた。

大災害にもかかわらず、復旧が進んできたのは、役場職員と被害に遭われた住民や復興に協力した住民などとの話し合いの深さと回数だと思う。協議などという机上の対応でなく、親身に汗する職員の並々ならぬ努力の結果だと思う。

次に、本委員会は、去る6月12日午後1時30分より、委員1名欠席のもと、第1委員会室において、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、松瀬住民福祉主監、山添教育次長、各担当課長及び担当職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

庁舎等の管理体制と緊急時の対応について。

総合庁舎を初め、総務産業建設常任委員会が所管する主な公の施設、また、一部の福祉・保健施設について、緊急発生時の初動体制、施設の劣化状況、今後必要と見込まれる改修についての説明、並びに教育施設については、緊急発生時の初動体制について各担当課長より説明を受けた。

主な質疑応答。

問) 総合庁舎の給水について。先日もまた工事をされていたが、引き直すなどしないのか。答) 今後、計画的に進めていきます。

問) 総合運動公園の今後の改修等の見込みで、高圧機器(受変電設備)の更新とあるが、以前にも申し上げたが、受電設備が小さくてライトが暗いため、今度の改修で大きくするという事か。答) そのように計画していきます。

問) 各施設の防火管理者が定まっているのか、また消火器の点検などは行われているのか。答) 防火管理者については、人事異動等により施設によってかわってきますので、異動があれば変更の手续や受講の徹底をしています。消火器については、消防点検もありますので、業者のほうで点検いただいています。

主な意見。

緊急発生時の初動体制における施設管理者への対応について、当たり前のことだが、本人が外出している場合、家族への行き先報告、携帯電話の携行義務については記入されていない施設がほとんどなので徹底されたい。

農村女性の家、勤労福祉会館については、警備業務が入っていない、早急に対応されたい。

今回作成いただいた調査票を生かし、不十分なところは明確にして再整理した上で、職員全体で管理を徹底していただきたい。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長(蔵口嘉寿男) 次に、教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長(古株克彦) 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成26年6月19日

委員長 古株 克彦

本委員会は、6月13日午後1時より、第1委員会室において欠席委員1名を除く委員5名の出席のもと、町執行部より竹山町長、松瀬住民福祉主監、嶋林健康推進課課長及び各関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。今回は、学童保育所運営基準について、法律改正に伴う基準条例の制定、事業計画の策定、新制度移行までのスケジュール等について説明を受けました。

学童保育所運営基準について。

1、改正の背景。

国においては、子ども・子育て関連3法が平成24年8月に成立した。これにより、地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実を図ることとされており、放課後児童クラブ（学童保育所）もその一つとして位置づけられた。

子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関連法律の整備に関する法律により児童福祉法の一部が改正され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営について、国が定める基準を踏まえて市町村が条例で基準を定めることになった。

## 2、改正点。

国の放課後児童クラブガイドラインで運営等の基準が定められていたが、児童福祉法の改正により、①事業の設備及び運営について、厚生労働省令で定める基準を踏まえ市町村が基準を条例で定めることとされ、②対象児童の明確化、③市町村の関与の強化、④市町村の情報収集の規定等が盛り込まれた。

## 3、国が定めた基準。

条例制定に当たっては、国が定める従うべき基準と参酌すべき基準の区分に従い定める必要がある。

## 4、制度施行に向けて。

竜王町のニーズ量の見込み検討。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準検討については竜王町子ども未来会議にて検討・決定する。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例については9月議会に提案予定。

子ども・子育て支援事業計画策定は平成27年3月の予定。

平成27年4月、子ども・子育て支援新制度の施行。

主な質疑応答。

問) 松ぼっくりの新しい施設では、50人の入所人員だが今後希望者が増加した場合のことを考えているのか。答) 一人当たり1.65平方メートルの面積を確保していくには、50人が定員になるが、今後ふえる見込みが考えられるので、今後施設も含めて考えていかなければならないと考えます。

問) 竜王町子ども未来会議にて検討・決定すると言うが、予算が伴うことに対しては、執行部で決めることであって、子ども未来会議には、決定権はないのではないか。答) 今後の状況について子ども未来会議でしっかりと議論をしてもらった提言を受けながら、町としても方向性を見定めていきたい。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第9 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第9 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第119条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成26年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、去る6月5日から19日までの15日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位におかれましては、提出させていただきました8件の議案と1報告に対しまして、連日慎重なる御審議を賜り、本日全ての議案を可決、お認めを賜りましたことに、心より厚く御礼を申し上げます。

またそれぞれの委員会で頂戴いたしました御意見や、本会議一般質問にて承りました御高見は、真摯に受けとめさせていただいて、今後の行政経営に、また、まちづくりに生かしてまいらねばならないと、私自身、気持ちの持ちようを新たにいたしているところでございます。

本定例会会期中の6月13日未明に、竜王町議会議員の西村公作様が御逝去されました。突然の訃報に、一瞬、時がとまったような衝撃を受けたところでありました。西村議員には、まちづくりに、そして議会活動に献身的なお取り組みをいただき感謝の言葉が思い浮かばないぐらいであります。早きに御回復なされ、この議場で御一緒させていただけることを願っておりましたが、それも届かぬものとなってしまいました。西村公作議員様の御功績とありし日の面影をしのばせていただきながら、今は皆様とともに御冥福をお祈りさせていただくばかりであります。

さて、議員の皆様も御承知いただいていることと存じますが、民間組織の日本創成会議の座長を務めておられる増田寛也元総務大臣が、全国の市区町村の半数を、消滅の可能性ありと発表されたところであります。出産年齢の中心である20歳から39歳の女性が、2040年までに半減し、人口減がとまらなくなる方向にある896自治体を名指しで発表され、その中に本町も含まれていた事実であります。

増田氏の弁であります、896自治体の中で、実は一番厳しいのが東京であると述べられており、人口が集中する東京がなぜ厳しいのか、その理由の一番に、高齢者の介護ができなくなることを挙げられています。

今、東京には特別養護老人ホームに、入所待ちをしている待機老人が4万3,000人おられるという実態であり、東京23区の中で豊島区は消滅可能性都市区になっており、人口集中の東京で出生率が低いのも理由に挙げておられます。

この記事に触れた際、意外な面を見た思いがいたしました。竜王町はこのところ人口が減少の方向にあり、不名誉な指摘を受けたのですが、就任させていただいてより、大きくは財政の健全化、人口減に歯どめをかけ、人口増へ向かえるような取り組みを強く訴えてまいりました。平成23年に策定いたしました第五次竜王町総合計画の中でも人口問題、人づくりを柱とさせていただいております。

平成21年に町内全集落を回らせていただきましたが、財政面での実態数字を説明いたしましたところ、驚かれた方が多かったことも頭に残っていますし、子供さんの数が減少し、高齢者の方がふえていく中、本町は人口減が続いていることに

対して、町としての課題であると御認識くださることをお伝えしたところでもありました。

その後も人口問題に関しては、機会を得るたびに話をさせていただきながら今に至っているのですが、今回の日本創成会議発表の記事は、衝撃をお受けいただいた方も多いと存じますものの、この発表にて危機感を強く持ってくださいならば、私はそのほうがこれからのまちづくりに大きな力となるものと思っております。

本町では人口増に向かえる要素がたくさん残っているところでありまして、ハードルは高くても、越えねばなりません。全町民の力を結集することと、まず私も行政に携わる者がその先頭に立つ覚悟を持たねばならないと存じます。

率直に申し上げますが、私はあの記事を読み、負けてなるものかという闘志がわき出た次第でもありました。議員の皆様にも御協力・御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

本定例会開会の冒頭の挨拶でも触れさせていただきましたが、税制度の見直しや、また火災復旧の費用等、収入支出の面で厳しい財政運用となつてまいることが予測されます。お認めいただきました予算執行に当たっては、事業を遅滞なく、また60周年の前の1年を大切にすの意味からも、節目がきちんと刻めるように職員のベクトルを合わせ行政経営に当たってまいりますので、議員各位には変わりが御指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げますところでございます。

ことはエルニーニョ現象が著しくなるとも報じられ、この影響で梅雨が長引くことや、北日本を中心に冷夏が心配されるころでもあります。議員の皆様にはくれぐれも健康に御留意くださいますして、議会活動に御専念いただきますようお願い申し上げます。言葉整いませんが、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

**○議長（蔵口嘉寿男）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る6月5日に招集され、本日までの15日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。また執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、ありがとうございました。議員各位並びに執行部各位の御協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

本会議並びに委員会において各議員から述べられました意見や要望事項につき

ましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

さて、ことしは梅雨入りが例年より早かったわけですが、梅雨入りを思わせない気候の中で麦の収穫も終わろうとしております。近年の異常気象といわれる状況の中で、これからの季節にあっては、特に集中豪雨などに十分な注意が必要となります。特に天井河川を配する本町にとりましては、昨年の台風18号の教訓からも重要な課題であります。新たな防災拠点の整備に向けた取り組みが始まることとなりますが、町民の安心・安全の確保を念頭に力強い事業展開を望むところであります。

総合庁舎別館の火災からはそのことにより与える影響がすさまじく大きいことから危機管理への意識と対策を改めて考えさせられました。再発防止への十分な検討を願うところです。

また、今定例会では、農業委員会委員の議会推薦につきましては、男女共同参画社会の創造の視点からも、女性のさらなる活躍を大いに期待することから、2名の方を推薦させていただいたところです。

さて、今定例会は、私たちと歩みをともしてまいりました西村公作議員とお別れとなった、悲しく辛い議会でもありました。西村公作議員のまちづくり、人づくりへの情熱、強い意志をしっかりと継承し、明るく住みよいまちづくりのため全力を傾注してまいりたいと存じます。安らかな御冥福をお祈りいたします。

いよいよ、本格的な夏を迎えることとなります。議員各位並びに執行部各位におかれましては、くれぐれもお体に御自愛をいただき、町政の振興発展のために、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成26年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後2時17分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 古 株 克 彦

議会議員 松 浦 博